

令和7年度第2回裾野市総合計画審議会

1 日時 令和7年8月5日（火） 14時30分～16時50分

2 会場 裾野市役所5階第一委員会室

3 出席委員（敬称略）

藤井 敬宏（日本大学理工学部 元教授）

山本 睦（常葉大学保育学部 教授）

橋本 勝彦（裾野市区長連合会 元連合会長）

渡邊 昌志（裾野市商工会 副会長）

市川 加代子（裾野市環境審議会 委員）

飯塚 尚司（トヨタ自動車株式会社 東富士研究所管理部 総括室 室長）

久保田 良一（裾野金融同盟 静岡銀行裾野支店 支店長）

市川 顯（静岡県東部地域局 局長）

※欠席委員

土屋委員、杉山委員、吉田委員

4 次第

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事

①後期基本計画の策定プロセスについて

・後期基本計画策定方針……………資料1

・後期基本計画骨子(案)……………資料2

・前期基本計画の評価反映……………資料3-1、資料3-2

・市民の声の分析……………資料4-1、資料4-2

②経営方針(案)について

・経営方針(案)……………資料5

③第5次総合計画後期基本計画（草案①）について

・施策の柱変更対象表……………資料6

・後期基本計画（案）施策体系対照表……………資料7-1

(4) その他

・スケジュール……………資料8

5 会議記録（要旨）

（3）議事 ※司会：橋本会長

①後期基本計画の策定プロセスについて

②経営方針(案)について

③第5次総合計画後期基本計画（草案①）について

- 議事 ①後期基本計画の策定プロセスについて

- 事務局説明

○会長

- 議事についての説明が終了したため、委員の皆様からのご意見、質問等を求める。

○藤井委員

- 具体的な次の計画方針に組み込む際に、市民の声、インフラ、制度、異なる時間軸などが入っている中で、今回の計画の中のプライオリティや重点化について、事務局としてどういうスタンスで構成を組み込んできたのか。
- 次のプロセスで、これらの声をどういう位置付け、方針に基づいて入れたのかといった具体的な説明をいただきたい。

○山本委員

- いろんなデータから引っ張ってきているのは良いが、内容要約をしているだけになってしまい、項目が多すぎるため、何を重点的に改善すればいいのか見えづらくなっていないか。
- 分析なので、単語レベルに落とすなり、共起（この言葉が出てくると必ずこの言葉が出てくる）分析を行い、項目を減らしてプライオリティもわかるようにしたい。
- きちんと、繰り返しが一番多く出てくる単語はどれか、それがどの施策に関係しているのかといった分析をしないと、ただの要約で終わってしまう。

○事務局

- 藤井委員、山本委員からいただいたご意見は、内部でも施策を重点化する際にどう活用するか議論を交わしているところである。
- この点、次回、改定草案②に向けて、いただいたご指摘を踏まえて再度ご説明させていただきたい。

○市川（加）委員

- データを収集した事実はわかるが、それをどうしたいというところまでいきたい。

○藤井委員

- デジタル目安箱と市民意識調査のデータについて、総合計画でどちらを基本に置くのかといった位置付けを明確にして良い。
- 子どもたちの移動ができないといったキーワードの声の反映は良い取り組みだが、本質的にどこまで関わるのか、それぞれのレベル感が分からない。
- デジタル目安箱の取り組みはあくまで具体例としての取り組みだけに限定し、総合計画の調査手法でやったアンケートの声を第一に取り込んでいくといった、一つの柱の見せ方をしていただけるとありがたい。

○市川（加）委員

- 高校生アンケートの対象校である裾野高校と不二聖心女子学院高等学校では立地条件も異なり、移動の問題を考えるには、もっと分析した上で2校を扱うべきではないかと感じている。

○事務局

- 前期基本計画の評価も市民の声の分析も、広く全方位でやってきたところがあり、次回の施策の重点化に向けて、分析結果の活用法を深掘りし、再度ご説明申し上げたい。

○渡邊委員

- 中高生の意見の分析は、総合計画のために聞いているのか、別のことで聞いたものを資料としてあげてきているのか。
- 意見を聞くことは大切だが、それらを全部資料化していくと、どうまとめていくべきか。
- 事務局がどうしていきたいかという方向性を打ち出して良いと感じた。

○山本委員

- 裾野市が分析をアウトソーシングせずに、自分たちの力でやろうとしている姿勢は、すごいことだし、評価すべきことだ。

○会長

- 議事の1については以上で終わらせていただく。

○ 議事 ②経営方針(案)について

- 事務局説明

○会長

- 議事の(2)について、委員の皆様、ご意見等を求める。

○久保田委員

- 32、3年ぶりに裾野支店に戻ってきたが、駅前には事業用地が増えてきた。計画の進捗はいかがか。
- 市のビジョンが「人と企業に選ばれるまち」。スピード感を持った積極的な行政運営と、動いていることが市民に伝わるような広報が必要である。

○市川（顯）委員

- 総合計画の5つの施策の大綱と、後期基本計画における5つの重点戦略

が、最終的に計画の方にどう落とし込まれるのか。

○事務局

- この重点施策は、総合計画の5つの施策の大綱を横断的に5つの項目に分類して抽出している状況である。
- 分かりやすくPRするという意味も含め、重点戦略は5つの項目に構成し直している。

○市川（顯）委員

- 計画と戦略をどのように後期の実行計画におとしていくのか。

○藤井委員

- 重要度と改善度のポートフォリオ分析で整理された施策メニューと、短期プログラムが多い重点戦略が3軸目として入ると関連が見えにくくなってしまう印象。
- 長期的な施策としての将来像や、15年間の財政シミュレーションを下地とした上で、施策メニューをプランニングすべきである。
- 重点戦略は短期に現実的に取り組んでいこうという話であり、どこに戦略の要素としての重点度を持っていくのかを見える化させたい。

○山本委員

- 施策全体が今住んでいる人だけを対象としているように見えるため、移住者を増やすために、農業政策や古民家改装、地域連携にもっと気配りが必要である。
- 世界が内側を向いている現状の意識を変える必要があり、空き家対策の問題もしっかり取り組むべき。

○市川（加）委員

- 市の発展のためには、土地利用を絶対的に見直す必要があり、これはトッ

プダウンで進めるべきものである。

- 市街化区域に土地がないと市役所の人と言うが、一軒ずつ回って、宅地にしたいので譲ってくださいと頼むことも必要では。
- 行政が積極的に進めた方が良い。

○渡邊委員

- ウーブン・シティの話が出た時に都市計画が変わったように、ドラスティックな変化を可能にする方法を考えるべき。
- 財政非常事態宣言は市民サービス低下の宣言をしたようなものであり、宣言をせずに改善できたのではないかと疑問である。
- 市の職員のポテンシャルは高いと思うので、職員主体の「こういうことをやりたいんだ」というものが計画に盛り込まれると、すごく分かりやすい。
- 伊豆の国市のように、この時代に即してもっと短期的にできる具体的な計画を盛り込むべき。

● 議事 ③第5次総合計画後期基本計画（草案①）について

● 事務局説明

○会長

- 議事（3）について、この部分が一番重要であると感じるため、委員の皆様にご意見をお願いしたい。

○藤井委員

- 重点施策の方向性が見えない中で、資料7-2の文言の字面だけで整理するコメント付けになるのは適切か懸念しており、次にどのように作業を進めるのが良いか。

○事務局

- 次回には、重点化の方向性がある程度きっちり出した上で、ご意見をいただきたい。
- 今回は、皆様の専門的な観点から、こうした点は今後さらに裾野市としても取り組みを広めるべきではないかというご意見を賜りたい。

○藤井委員

- パブリックコメントが先行するとなると、委員がどういう責任を取っているのかわからなくなるため、その位置付けだけ明確にしておいてほしい。
- 重点的な方向性・指針が明確でないまま市民に提示し、それが答申に直結する形で良いか。

○山本委員

- 時間を区切り、分担を決めて、専門的な話を聞く機会を設けるべき。

○飯塚委員

- この計画の期間は令和8年度から5年間であり、KGIは5年ないしそれより先のゴール、KPIは5年間の中で進捗が確認できる定量的なものという認識でよいか。
- 草案は冗長で変化を吸収できるものになっているが、5年後の具体性についてはまだ詰められる可能性があり、分担してそれぞれのパートを深めるのは良い。

○久保田委員

- 魅力ある観光地の実現やスポーツツーリズムの推進の観光施策について、現場目線で関係人口が増える発想が必要である。
- 御前崎市のヨーロッパ基準の芝のサッカー場のように、尖った施設を整備するなど、現場目線での発想が必要だ。

○市川（顯）委員

- 施策の大綱は変わらないが、施策の柱を後期5年間に向けて、新たに設定するか整理する必要があるか考えるべき。例えば国は、こども家庭庁ができ、「子ども真ん中社会」を言っている。

○市川（加）委員

- パブリックコメントに出すのは、市として自信を持って出す整理された内容でなければならず、「骨子」であっても抽象度が強すぎる状態では市民が判断に困る。
- 市民にわかるように、「こういうものを入れようと思います」といった市の考えを明確に提示する必要がある。市として自信をもって出しても意見はいくらでも来ると思うので、しっかりとやらないといけないと考える。

○事務局

- 委員の皆様には個別にお時間を頂戴する形で、計画の中身をご案内し、ディスカッションするような形態で専門的なご意見を承りたい。
- パブリックコメントにかけるタイミングは、審議会の下が得られていない中身ではできないため、個別のディスカッションを踏まえ、工程感を引いていきたい。
- 本日の審議を踏まえ、皆様と個別に計画案と骨子についてディスカッションさせていただいた上で、パブリックコメントへ持っていける案をご提示したい。

○会長

- 第2回裾野市総合計画審議会を閉会とする。